

私は11月6日から11月12日までの一週間、北翔大学と姉妹校である培花女子大学へ韓国文化研修に行つて参りました。

一週間で、韓国の文化を学ぶ様々な体験をしました。まず初日の午前、培花女子大学の近くにある培花幼稚園に行ってきました。幼稚園は100年もの歴史がある幼稚園で、学年ごとに園児達がテーマを決めて学んでいき、最後に自分達の親に成果を発表するというをしていました。小さな頃から自分の意見を持ち、学んでいることに驚きました。

私たちが来るということで、日本語で歌を歌ってくれてとても嬉しかったです。その後、大学の学生達との交流会がありました。皆さん1年生だったのですが、日本語がとても上手で驚きました。日本の学生達に比べて、韓国の学生達は勉強に対して意欲的で、とても積極的だと感じました。



午後は、伝統調理学科の学生達と製菓実習を行ったり、先生が韓国の伝統料理トッポギを、3種類の味付けで



作って下さったものを頂きました。製菓実習では、タルト作りをしました。そこでの学生達の学ぶ姿勢もとても積極的に素晴らしいと感じました。先生が作ってくれたトッポギは、スタンダードな辛いトッポギと、牛肉などを使った醤油ベースの宮廷などで食べられていた伝統的なトッポギ、最近若者に流行っているカルボナーラトッポギでした。3種類とも全く味が異なりましたが、とても美味しかったですし、簡単な調理法でも作ることができると学びました。

2日目は景福宮という王様が住んでいた宮廷に行きました。建造物がとても立派で一つ一つの模様が、繊細に描かれていて美しかったです。その後、大学で歓迎会に参加しました。そこで培花女子大学の総長さんから「過去は過去、今は今、未来は未来」というお言葉を私たちに贈って下さいました。私たち若者が前を向いて進んで行ってほしいとおっしゃっていました。総長さんのお言葉が、本当に胸に響きました。過去は変えられるものではありませんが、私達一人一人がしっかりと歴史を理解し、共により良い未来の為に前に進めることのできるよう努力していきたいと強く思いました。

午後は、韓服着付け、金箔実習、展示室見学をしました。

韓服の着付けは、伝統衣装学科の学生達が着せてくれました。結婚式の衣装で着方を見せてくれましたが、赤色は男性を表わし、青色は女性を表わしているそうです。女性の衣装は中に下着のようなものを沢山着込むようで、下の膨らみが大きいほど位が高いとされるということを初めて知り、勉強になりました。色使いがとても鮮やかで美しく、刺繍も細やかで煌びやかでした。初めて韓服いわゆるチマチョゴリを着ましたが、思っていたよりも素材が軽く、動きやすいという印象でした。

金箔実習では、韓紙という日本でいう和紙のようなものを使い、金箔を低温にしたアイロンを当てて貼り付けるというものでした。韓紙の上でアイロンをすべらせるだけで、簡単に貼りつくので、とても面白く夢中になって作業しました。封筒のような紙にもしっかりと貼りつきました。一つ貼るだけでもとても豪華に仕上がると感じました。展示室には、王様や王妃様の衣装が展示されていました。位によって髪型や、色使いが異なり、やはり豪華なものは王様や王妃様の衣装でした。「イ・サン」や「成均館スキャンダル」などのドラマの衣装が小型の

模型となって展示されていて、ドラマをそのまま再現されていて驚きました。展示室を見学した後は、ホームステイに行きました。初めての体験でとても緊張しましたが、ホームステイ先の皆様がとても良くしてくださり、心から楽しむことが出来ました。韓国のような観光地に連れて行って下さいまして、北朝鮮が見えるところまで連れて行って下さいました。戦争当時の蒸気機関車などそのままの停止した形で残されていました。韓国と北朝鮮の歴史について詳しく学び、教えて頂いて、とても感慨深い体験でした。

韓国の昔の町並みが再現されている博物館にも行き、薬屋さんや、洋服屋さん、靴屋さん、映画館、学校、質屋、一般の家庭など様々なものが再現されていました。人もしっかりと本物のように再現されていて、とてもリアルに町並みを感じる事が出来ました。プロバンス村という童話に出てくるような街にも行きましたが、とても可愛らしい街でした。ハーブが有名らしく、石けんなどが売っていてとても良い香りでした。地元の繁華街やショッピングセンターにも連れて行って頂き、とても充実した3日間を過ごさせて頂きました。お母様の料理がとても美味しくて、キンパブなど伝統的な家庭料理をご馳走して下さいましたし、サムギョプサルやチキン、ジャージャー麺など、韓国の有名な料理も沢山頂けて、幸せでした。韓国語があまり分からない私にでも、話かけていただき、内容についてもほぼわからないので、ホームステイ先の学生さんがすべて通訳してくれて本当に助かりました。沢山お世話になりとても感謝の気持ちで一杯で、韓国語も会話ができるように今まで以上に頑張って、話せるようになったら感謝の気持ちを言葉にして伝えたいと強く感じました。



日本に帰る日の前日には、韓国民族村や伝統舞踊を見学できるコリアハウスなどに行ってきました。民族村も昔の韓国の家などが再現されていましたが、ホームステイで行った場所よりもより昔の時代が再現されていました。敷地が広く、トイレなども部屋とは別の場所に作られていて、やはり現代の家とは全く異なると感じました。コリアハウスでは、韓国の伝統的な音楽にのせて伝統舞踊を拝見しました。女性が四方八方についている太鼓を叩いて音色を奏でていて、迫力があり格好良かったです。韓国の伝統的な踊りも拝見しましたが、扇子を使っていたりして、とても優雅で美しかったです。男性の舞踊も楽器を持ちながら踊っており、男らしい迫力があって見入ってしまいました。

1週間という期間は、長いようで短くあっという間でした。1日1日が新鮮で、とても充実していました。大学の学生達の学びに対する意識がとても高く、驚きました。幼稚園の頃から学ぶ大切さや喜びを感じてきているから、大学でも積極的に学ぼうと考えるのかと思いました。私も勉強など積極的に頑張ろうという気持ちになり、良い刺激になりました。

培花女子大学の皆さんが北翔大学に研修に来た時の方々とも、再会することができ感動しました。また今回ホームステイに行かせて頂いたお家は、培花女子大学の皆さんが研修に来られた時に私の家で受け入れた学生さんでした。



このように研修を通して、交流が生まれ国など関係なく仲を深めることが出来ていることに、とても喜びを感じます。このような出会いから、少しでも良好な関係に繋がって行くことが出来ればと良いと思います。

日本と韓国には歴史的な問題など沢山あります。その事実は、目を逸らさず、きちんと受け止めて行かなければならないことだと改めて感じました。ですが、培花女子大学の総長さんがおっしゃっていたように、未来にも目を向けて進んで行かなければ発展することは出来ないと思いました。私達の世代が歴史や今の現状を知り、より良い未来になるよう努力していくべきだと感じました。

韓国の様々な方達と交流をすることで、自分の意見をしっかりと持ち、発言するという事は大切なことだと学びました。今回の研修で、韓国の歴史や文化を実際に目で見て肌で感じる事ができ、良かったです。